

(2) 中学部

ア 中学部教育目標

生徒の安心・安全な環境を作り、集団活動や地域生活に必要な力を身に付けるとともに、自発的に周りの人と協力し合おうとする生徒を育成する。

イ 中学部の教育

＜わたしたちの願い及び教育課程編成の基本的な考え方＞

中学部の時期は、二次性徴の発現に伴い、身体の成長や変化が大きく見られる時期であり、一方ではその変化に戸惑いを感じやすい時期でもある。また、思春期を迎え、保護者や周囲の大人と一緒に安定できる環境から一步踏み出し、様々なことに挑戦しながら自己を見つめ直し、自己の確立や心理的な自立に向かおうとする時期である。

このような重要な変化を迎える時期であることを踏まえ、成長・変化する自分自身を適切に受け止めるとともに、これまで培われてきた諸能力（生活に必要な基礎的能力・態度）を基に自ら新たなことに「チャレンジしようとする」意欲を高めつつ、課題を見付け解決の方法を考え、その課題をよりよい方法で解決できるようにしていくことが重要であると考え。また、持続可能な社会の実現に向け、自分たちも取り組んでいるという自覚をもって生活することで、主体的に社会参加する気持ちが育っていくと考える。

(7) 集団生活や地域生活に必要な力を身に付ける生徒を育成するために

自分のことや自分のよさなどの自己への気付きを高め、心理的な自立へ向かおうとする時期であることを踏まえ、中学部では、集団活動や生活経験をより一層拡大させ、自分のやれそうなことや得意なことなどを知り、よさや可能性を伸ばすとともに、それらを発揮して、自分の役割や責任を遂行できたという達成感や有用感を獲得できるようにしていくことが大切であると考え。

そこで、中学部では、以下の4点を重点的に取り組み、集団生活や地域生活に必要な力の育成につなげていきたいと考える。

- ① 総合的な学習の時間や生活単元学習、保健体育を中心に、友達同士や様々な人との関わりにおいて、目的を共有し合い共に活動したり、相互に気持ちや考えを伝え合ったりして課題解決する力を身に付けられるようにする。
- ② 公共施設や交通機関の利用、買い物等の家庭・地域での活動に必要な具体的なスキルを身に付けられるようにする。
- ③ 教科や教科別の指導においては、これまで身に付けてきた基礎・基本となる能力を更に高めるとともに、将来の生活に必要な実際的な内容を取り入れ身に付けられるようにする。
- ④ 特別活動や日常生活の指導等を通して、生活年齢に応じた言葉遣いや身だしなみなどの社会生活のルールやマナーについて身に付けられるようにするとともに、校内実習や職場体験学習、校外学習等の充実を図り、働く生活に関心をもたせ、高等部での職業教育へつなげていく。

(4) 自発的に周りの人と協力し合おうとする生徒を育成するために

中学部では、様々な集団や活動、関わりの対象の広がりや考慮して指導を行っていくことが大切である。そこで学級集団を核としながらも、学年での学習や学年を解いた縦割り集団、学部全体での学習の機会などの多様な学習集団の場を設け、様々な友達と目標を共有し活動したり、互いに取組を発表して評価し合ったりする活動を取り入れる。また、学校のみならず交流及び共同学習の充実を図ったり、地域の方々に学ぶ機会や地域等の実際的な場でやり取りする機会も設定したりしていく。その際、共に考えていくという教師との信頼関係を基に、友達同士や周りの人との適切な関わり方や、手段を具体的に提示して指導するとともに、生徒自身が選択・評価できるための問題解決能力の向上を促す学習活動を設定していく。また、生徒一人一人の取組を集団の中で十分に認め、自己実現ができたことと振り返られるような手立てを行うことで、自信につながり、主体的に他者との関わりが広がり、周りの人と共に協力しようとする意欲や態度が育まれていくと考える。

ウ 具体的取組内容

	取組の主眼	具体的な取組内容・方法等
健康・安全	・ 心身の健康の保持増進	・ 健康管理に関する指導の充実と家庭や学園等との連携(毎朝の健康観察や検温、連絡帳での情報交換、学園との担当者会)
	・ 健康・安全に関する意識の向上	・ 健康管理や危険回避など事故防止のための継続的な指導(関係する係との連携、ヒヤリハット事例の情報共有) ・ 学習環境の整備及び保持(安全点検の徹底、教室内外の整理)
	・ 身体を動かす楽しさや喜びの深まり	・ 保健体育や体力づくりでの運動量の確保や指導の充実と肥満防止への取組(実態に合わせたグループ別の活動)
	・ 命の大切さを学ぶ学習の推進	・ 食育、性に関する指導、心の健康等についての個に応じた支援と計画的な指導(家庭・学園等との連携、養護教諭・看護師・栄養教諭との連携、スクールカウンセリングの活用) ・ 人権教育の推進(人権ヒヤリハット事例の情報共有と相互チェック)
日常生活	・ 基本的な生活習慣に関する能力・態度の育成	・ 挨拶、言葉遣い、掃除、礼儀作法など個に応じた指導の充実(教材教具を活用した分かりやすい学習環境や教師による手立ての工夫) ・ 決まりを守る、時間を守るなど望ましい生活習慣の形成と定着を促す個別指導の充実と家庭や学園等との連携(校内支援係や生活指導係との連携、生活指導への組織的対応)
人との関わり	・ 特性等に即したコミュニケーション能力の育成	・ 自分の気持ちを伝えるための言語及び他のコミュニケーション手段を活用する学習活動の充実(教師の師範や働き掛けの工夫、学部共有のサイン・カード・シンボルマーク等の活用、ICT機器の活用) ・ インターネット上での情報活用能力や、情報モラルを育成する指導の工夫(生活指導・情報教育係との連携、家庭や学園等、関係機関との連携、情報モラルについての学習を設定) ・ 言語活動を高めるための学習活動の工夫(自己選択・自己決定を促す機会の設定、話し合い活動や合同学習での発表場面の設定)
	・ 他者との関わりを深める集団活動の充実	・ 友達との協調性やお互いを思いやる心を育てる指導の充実(学級・学年・縦割り集団等の多様な学習集団の設定) ・ 交流及び共同学習や集団学習における同年齢、異年齢の人との関わりの充実(交流校との事前打合せや活動後の記録の充実、委員会活動、各行事等での取組) ・ 教科等や総合的な学習の時間でのゲストティーチャーの活用(校内・地域人材マップの活用)
地域・社会生活	・ 地域や生活に積極的に参加し、活動する力の育成	・ 公共交通機関や施設の利用等に必要なルールやマナーについての学習の推進(教科、生活単元学習、校外学習等での取組) ・ 計画的な金銭の使い方や取扱等の個に応じた学習の充実(教科、生活単元学習、作業学習、校外学習等での取組)
	・ 働くことへの興味・関心を高めるとともに、進んで働くための力の育成	・ 働くことの意義や喜びを学び、成就感や達成感を育てる指導の充実(高等部との連携、作業学習、校内実習、職場体験等での取組、職員の乗り入れ研修)
	・ 学部・学校卒業後の社会生活につながる学習の推進	・ 自分の役割を理解し進んで果たそうとする態度や目標設定から評価までの意思決定能力を育成する指導の工夫(生活単元学習、作業学習、校内実習等での取組) ・ 卒業後の進学を含めた進路実現に向けての指導の充実と学級PTA等での情報提供の工夫(キャリア教育、進路指導係との連携、事業所での体験活動の推進、PTA施設見学や進路に関する学習会等の進路に関する行事への参加の呼び掛け、中3高等部体験) ・ 余暇の過ごし方へつながる趣味や特技を生かした活動の充実(総合的な学習の時間、休み時間、同好会等の取組、家庭・学園等への情報提供) ・ 自己実現へ向けたケース会議や教育相談の充実(個別の指導計画、教育支援計画の活用、家庭や学園等、関係機関との連携)